

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2002-511084(P2002-511084A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願平11-504530

【国際特許分類】

C 0 7 C 69/734 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/216 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 5/14 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

C 0 7 C 59/68 (2006.01)

C 0 7 C 59/90 (2006.01)

C 0 7 C 69/738 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 69/734 Z

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/216

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 5/14

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 25/24

C 0 7 C 59/68

C 0 7 C 59/90

C 0 7 C 69/738 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年6月9日 **適**

特許庁長官殿

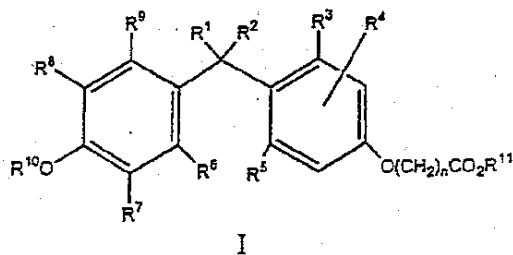
1. 事件の表示 平成11年特許願第504530号
2. 補正をする者
住所 アメリカ合衆国 94607-5200
カリフォルニア州 オークランド トウエルフス
フロア フランクリン ストリート 1111
名称 ザ リージェンツ オブ ザ ユニバーシティ オブ
カリフォルニア
3. 代理人
住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿4丁目3番17号
H&K 新宿ビル7階 電話03-3357-5171
氏名 (7904) 弁理士 中島 淳
4. 補正対象書類名 明細書
5. 補正対象項目名 請求の範囲
6. 補正の内容
請求の範囲を、別紙の通り補正する。

以上



請求の範囲

1. 下記式 I の化合物または医薬的に許容できるその塩：



式中、n は 1、2 または 3 を表し；

R¹ および R² はそれぞれ別個に水素または低級アルキルを表すか、または R¹ および R² とそれらが結合している炭素とが一緒に -CHOH、-C=O または -C=S を表し；

R³ および R⁵ はメチルを表し；

R⁴ は水素、低級アルキル、またはシクロアルキルを表し；

R⁶ および R⁹ は水素または低級アルキルを表し；

R⁷ および R⁸ はそれぞれ別個に水素、低級アルキル、置換または非置換フェニル、置換または非置換ベンジル、またはヘテロアリアルを表し、ここで R⁷ および R⁸ が両者共に水素であることはなく；

R¹⁰ は水素、低級アルキル、シクロアルキル、またはアシルを表し；さらに

R¹¹ は水素、低級アルキルまたはシクロアルキルを表す。

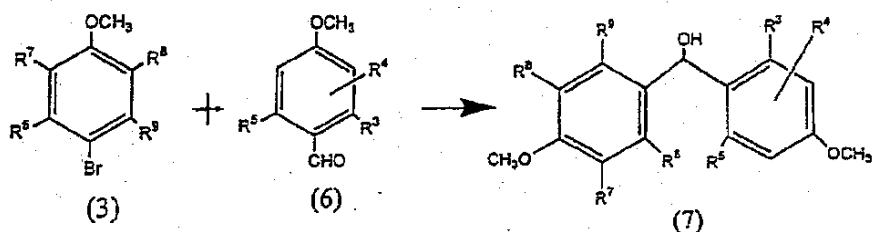
2. R⁴、R⁶、R⁷ および R⁹ が全て水素である請求の範囲第 1 項の化合物。
3. R¹⁰ および R¹¹ が水素を表し、n が 1 を表す請求の範囲第 2 項の化合物。
4. R⁸ が低級アルキルである請求の範囲第 3 項の化合物。
5. R⁸ がイソプロピルである請求の範囲第 4 項の化合物。
6. R¹ および R² が共に水素である、すなわち上記式 I の表す化合物が〔3, 5-ジメチル-4-(4'-ヒドロキシ-3'-イソプロピルベンジル)-フェノキシ〕酢酸である請求の範囲第 5 項の化合物。
7. R¹ が水素であり、R² がメチルである、すなわち上記式 I の表す化合物が〔3, 5-ジメチル-4-[1-(4'-ヒドロキシ-3'-イソプロピルフェニル)エチル]フェノキシ〕酢酸である請求の範囲第 5 項の化合物。

8. R^1 および R^2 とそれらが結合している炭素とが一緒に $-C=O$ を表す、請求の範囲第5項の化合物。

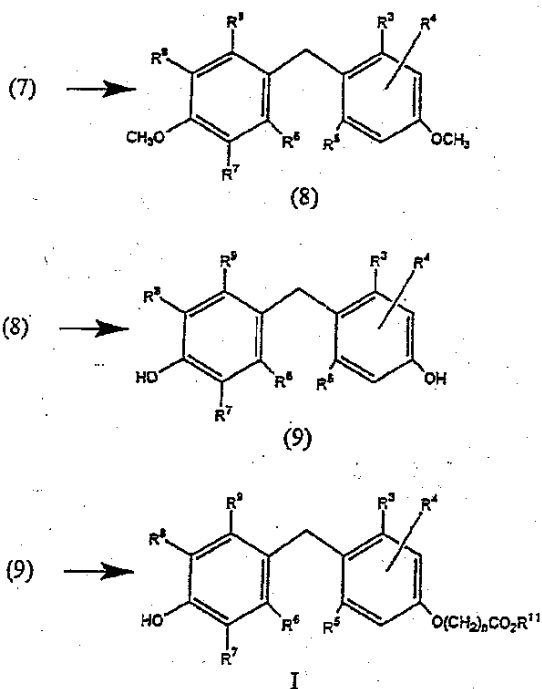
9. 甲状腺ホルモン作動薬で処理することによって軽減される病的状態をもつ哺乳類に投与する医薬組成物であって、治療的に有効な量の請求の範囲第1項の化合物を、1つまたは2つ以上の医薬的に許容できる賦形剤と混ぜ合わせて含有する前記医薬組成物。

10. 前記病的状態が、高コレステロール血症、粥状硬化症、肥満、心律動異常、甲状腺機能低下、骨粗鬆症、及びうつ病からなる群より選択されることを特徴とする請求の範囲第9項の医薬組成物。

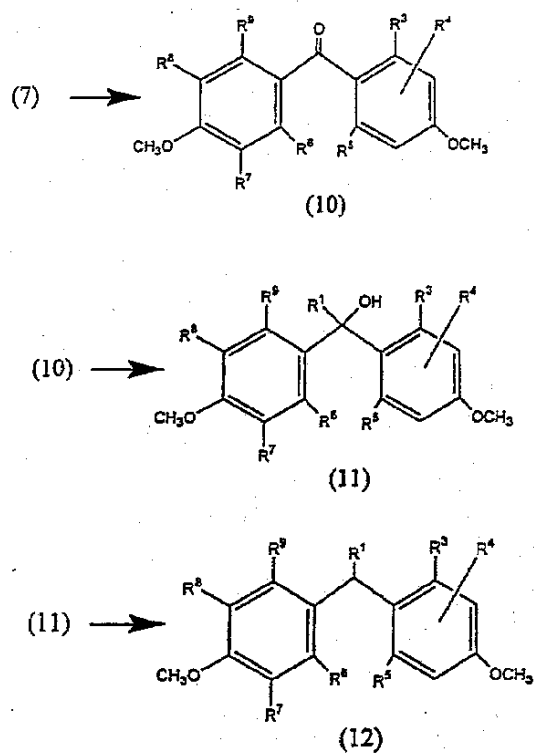
11. 下記化合物(3)及び(6)から(7)を得る反応式と反応模式図群 I I I ~ V I とからなる群より選択される少なくとも一つを経て前記式 I の化合物を得ることを特徴とする、請求の範囲1~8項の化合物の製造方法：



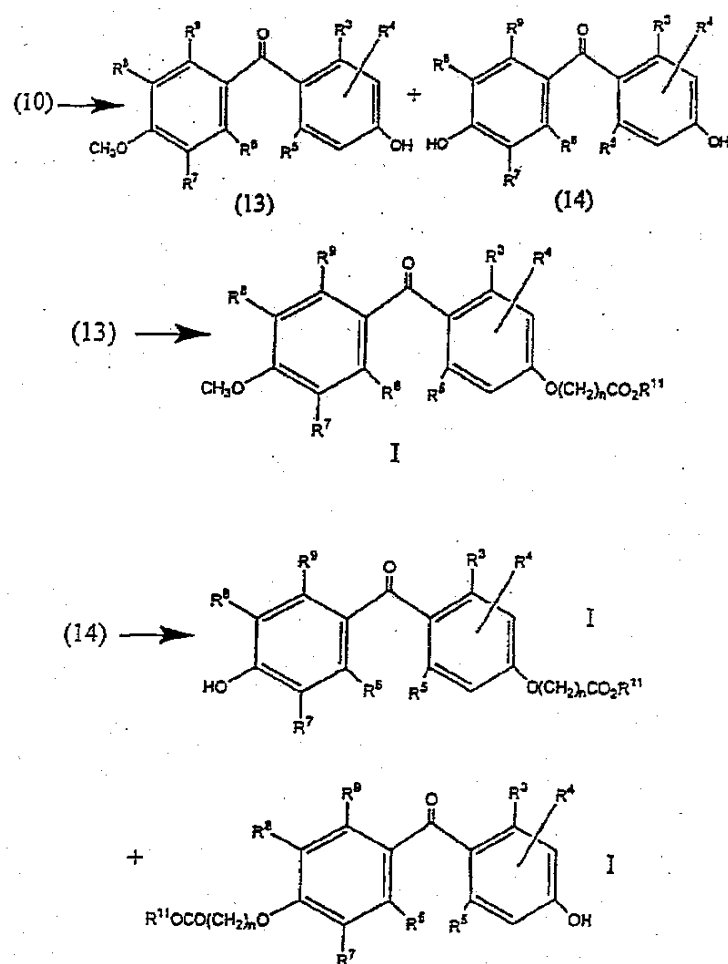
反応模式図 I I I



反応模式図 I V



反応模式図 V



反応模式図 V I

